

**IMS・ORC レーティングルール 2010 年変更**  
ORC Rating Systems 2010 (ORC-International and ORC-Club 共通)  
International Measurement System 2010



ORC Association Nippon  
日本ORC協会

日本ORC協会 2010年2月13日

ORC Rating Systems ならびに International Measurement System (IMS) の 2010 年度変更では、IMS Part-H HEAVY ITEM を削除し、Appendix 1 ACCOMMODATION REGULATIONS を簡素化して CRUISER/RACER REGULATIONS と改編されたことが、大きな変更である。

また、ハル・アペンデージの形状計測では、従来方式に加えて、デザイナーからのデザインデータを受け入れる方法が追加された。

なお、当協会は、今年から IMS の和訳文を用意して、ホームページからダウンロードできるようにいたしました。

#### 1. Heavy Items

2009年まで存在した Part H Heavy Itemsは Anchor/Chain を除いて基本的に 利用しない。Anchor/Chain はバウ位置(ステムからLOAの30%以内)に位置する場合はGyradius 調整を行う。

下記の項目はIMS Part-Bに追加された。

B5. 5 Anchor 重量は Anchor本体の重量と関連するChain の合計とする。

B5. 6 Anchor LCG は ステムからAnchor/Chain のセンター位置までの距離として記録される。

#### 2. Appendix 1 ACCOMMODATION REGULATIONS を簡素化して CRUISER/RACER REGULATIONS と改編された。

従来から煩雑でチェックが難しかったアコモ・レギュレーションがシンプルになった。

カテゴリーをCruiser/Racer と Performance に分類されるようになる。

2010年1月より前に計測された艇は、計測された時点のルールに準拠して判別することができる。Cruiser/Racer デイビジョンであった艇はCruiser/Racer カテゴリーなり、 Racing と None のデイビジョンであった艇は Performance のカテゴリーに分類されるようになる。

Cruiser/Racer カテゴリーに必要とされる要件は明らかに軽減されているので、ルール本文を参照していただきたい。

#### 3. ハルデータ(OFF.ファイル)作成にデザイナーのデータを使えるようになった。

従来からORC-Club で認められていたデザイナー提供のハルデータがそのまま利用可能という意味ではなく、もう少し厳密に管理するということで、その手順に関しては、ORCルール301. 1参照のこと。

#### 4. Carbonマストの計測

従来、Carbonマストは重量・重心計測が義務付けられていたが、オーナーの経費軽減のために、新しいデフォルト計算式を用意して、計測を義務とはしないようにした。計測しても良い。

併せて、新しい技術アイテムであるファイバーリギンに対しても対応することになった。(IMS F9. 8)

計測手続きとして: Carbonマストおよびファイバーリギンに対して、“Yes”と“No”を記載することになる。

#### 5. プロペラの設置方法の分類が変わった。(IMS D3. 3参照)

In Aperture と Strut Drive は従来通り。

その他の設置方法でシャフトを使ったものを“Shaft”とすることになった。

## 6. Sail計測

ERSを以下のように修正し、7/8リーチポイントの決め方を変えた。

トップ幅が非常に大きなセールで、従来の決め方では、7/8リーチポイントがリーチ上ではなくトップ幅の範囲内に入ってしまう場合は、7/8リーチポイントをヘッドの後端のポイントとします。(IMS G1. 4参照)

最近でできた、やたらに大きなトップ幅のメインセールの場合、現行のERS規定によるMGTは測定上おかしな位置に来る場合があるため以下のように変更。

関連して、このような形状のセールでは従来の面積計算が機能しないことになるので、新しく評価面積(Rated Area)計算式を追加した。(ORCルール301. 1参照)

## 7. セールのアップウインドの性能評価を優遇できる下記の項目を設けた。(ORCルール111. 3参照)

Main Sail ならびに Genoa Sailが Woven Polyester でできている場合には “Yes” or “No”で記入すること。(G1. 5参照)

(Dacron は商標名であることから “Woven Polyester”と表記する。マイラー等が混在する場合は適用除外)

Head Sailが1枚のみで ジブファーラーを使っている場合には “Yes” or “No”で記入する。

(ORC-Clubですでに導入済み、ORC-I にも導入する)

## 8. Jib/Genoa バテン本数が変更された。(IMS G4. 4参照)

J が 110%LPG 以下のJibについて

LOA ≤ 14. 0mの場合は 最大4本の バテンを

LOA > 14. 0mの場合は 最大5本のバテンを持つことができる

バテンは Head とClewの間におおよそ均等に配置されること

## 9. クルー体重

クルー体重はデフォルト値を使うことも、申告値を使うことも可能ですが、デフォルト値の場合もキログラム値で小数点以下の値は四捨五入とする。(ORCルール102 & 200参照)

従来、証書上では「Kg整数値」で表示されていても計算上は少数以下の値が有効であったようで、それを是正した。

## 10. Non Manual Power

RRS52「人力のみを使って操作・・・」という制限を取り除いて、条件付きで動力を使えるようにした。

この背景としては、大型の艇でクルーが少ない状態でもレースに参加できるようにすることを考慮している。

動力の使用は下記の場合に許される。(ORCルール204)

- a) カンテイングキールおよびウォーターバラストの制御
- b) スターの調整、ランニングリギンまたはスパーに対して
  - LOA > 20mの全ての艇
  - IMS Appendix 1 準拠のLOA ≤ 20mのCruiser/Racer 艇

ORCルール103. 3ではクルーウェイトと関連付けてペナルティーを設定している。